

第4回犯罪被害者等支援条例検討委員会 議事録概要

1 日 時 令和5年1月18日(水) 15:00~16:00

2 場 所 兵庫県学校厚生会館3階大会議室

3 出席者

委 員：正木委員長、井関委員、遠藤委員、大岡委員、加藤委員、
小山委員、寺田委員、土師委員、堀口委員

事務局：齋藤知事、城県民生活部長、竹谷県民生活部次長、立石生活安全課長 等

4 内 容

(1) 神戸児童連続殺傷事件の事件記録廃棄に対する裁判所への要望について

事務局から、当要望の対応結果について説明

(委員)

最高裁判所からの意見聴取は令和5年2月14日に決まり、今後の記録保存をきちんとしてもらえるよう自分の思いをきちんと伝えたい。

(委員)

当委員会では権利の尊重や名称について、重視してきた。全員一致で要望書を提出できたことは、大きな意義がある。記録廃棄の問題点、調査の必要性、犯罪被害者遺族に丁寧な説明をすること等、犯罪被害者の見地に立った意見となった。知事名の送付文を要望書に付して提出し、記者発表していただいたことに感謝する。

(2) 犯罪被害者等の権利利益の保護等を図るための施策の推進に関する条例(案)の検討について

事務局から、パブリック・コメントの結果、最終条例案の内容や考え方等について説明

(委員)

きちんと詰めていただき、感謝する。

(委員)

よい条例案となり、感謝する。

(委員)

すばらしい条例案である。

資料2-1 3基本理念(4)で、犯罪被害者等支援に関係する者について、「条例の解説等で具体的な例示を行っていく」とあるが、条例の解説を別途作成するのか。

(事務局)

作成する予定である。

(委員)

よい条例案となった。

他の都道府県条例では前文がないのがほとんどで、格調高いものとなった。用語について、「心的外傷」としている方が正確である。

(委員)

このような条例案となったことに感謝する。

(委員)

最終条例案についての意見はないものとする。

多くの自治体でも課題となっているが、パブリック・コメントの意見が少ないのが残念である。

条例案はよいものとなり、今回の案で当委員会としての合意がなされたということにしたい。2月議会の上程に向けて進めてほしい。

(3) スケジュール及び来年度の取組について

事務局から、条例施行までのスケジュール、来年度の取組（案）について説明

(委員)

総合サポートセンターの設置について、ひょうご被害者支援センターも協力すべく、今後、県と協議していきたい。

(委員)

このような条例案となったことに感謝する。細かいところまで検討し、一文一語が委員の考えが反映され、よいものができた。これからがスタートで、ひょうご被害者支援センターも引き続き頑張って取り組んでいきたい。

(委員)

全国で条例がない県は少なく、兵庫県は最後になってもできないのではという思いがあった。数年前の県からの説明では、犯罪被害者等支援は地域安全まちづくり条例で規定しているとしていたが、今年度、順調に進み、すばらしい条例案を作っていた。議会での可決、施行に向けて、もうしばらくお願いしたい。

(委員)

全国で最もよい条例案ではないか。これをいかにスムーズに実行していくかが次の

段階である。

(委員)

よい条例案で、寺田委員と土師委員にも議論いただき、意義が深いものとなった。条例は最低限の目標等を定めるもので、今後、実際の活動等を通じてこれを高めていくこととなる。特に総合的な支援窓口の設置を盛り込んだのであれば、どのように運営するかを具体的に考える必要がある。これまで、被害者の方のカウンセリング、治療、ケースワーク、教育、研修等に取り組んできたので、協力していきたい。

(委員)

胸を張れる条例案ができた。この条例に魂を入れていくのが総合サポートセンターの支援の中身だと思うので、しっかり取り組んでいただきたい。

記録廃棄問題については、当委員会で柔軟に対応し、最高裁判所の今後の対応も変わってきており、よい結果となっている。

(委員)

条例制定後、県警と県がさらに連携を深めて被害者支援に取り組んでいきたい。被害者の方のニーズに沿えるよう、広報啓発活動等それぞれの施策で協力していきたい。

(委員)

条例ができてからが重要で、総合サポートセンターにおける研修も必要である。今後も協力していきたい。

(委員)

皆様の協力で条例案がまとまったことに感謝申し上げます。

条例が未制定なのはあとわずかだが、兵庫県の条例案は、名称や前文等、特徴あるものとなった。

教育を受ける権利について、胸を張れる一文が入っている。

まずは総合サポートセンターにどのように魂を入れていくかである。

広域重大犯罪等について、警察庁では連携方法等のマニュアルを作成し、いろいろな地域で研修を行っている。その辺りは県警も協力いただき、しっかり連携をとってほしい。心のケアについても、協力をお願いしたい。

マスコミ対応についても、しっかり力を入れて、魂を入れていただきたい。

条例をどのように施策や計画に反映していくかが重要である。